



気をつけよう!

RSウイルス感染症



冬の感染症

溶連菌感染症



<感染経路>

飛沫感染。

<症状>

高熱が出ることもあり、のどのはれ、おう吐、頭痛などの症状が現れる。首のリンパ節がはれたり、筋肉痛や中耳炎を起こすこともある。その後全身に小さな発しんが出たり、舌に白いこけ状のものがつき、3日くらいすると赤くブツブツしてくる(イチゴ舌)。発しんや舌のブツブツが出ず、のどが痛いだけのときもある。

<対応>

抗生物質で治療する。症状が治まったからといって独断で薬をやめたりしないこと。

<感染経路>

飛沫感染。接触感染。

<症状>

発熱、鼻水やせきなどの症状で始まり、呼吸時にヒューヒュー、ゼーゼーといった音が出る。重症化すると危険な状態になることも。

<対応>

今のところRSウイルスに対する特效薬はなく症状に対しての治療になる。早めに受診し、こじらせないようにすることが第一。

感染性胃腸炎



<感染経路>

経口感染。接触感染。食品媒介感染。吐いたものからの空気感染。(感染力が高い)

<症状>

激しいおう吐の症状が突然現れ、下痢がそれに続き、発熱もある。ロタウイルスに感染の場合は、便が白っぽくなることも。

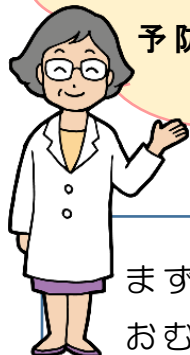
<対応>

激しい下痢が続くので、イオン飲料や湯冷ましなどで十分に水分補給をし、脱水症状にならないようにする。症状は2~3日から1週間程度で治まる。

手洗いうがいができない

小さな子はどうやって

予防したらいいの？



まずは周りの家族がしっかりと手洗いうがいをしましょう。菌が出るためおむつ交換後の手洗いも重要です。

また部屋をこまめに換気したり、加湿器などを使って湿度を適度に(40%~60%)保ちましょう。水の入ったコップや濡れタオルを置く、霧吹きをかけることでも加湿することができます。室温は冬は20~23℃が適温です。人ごみを避けることも大切です。